

科目名 Course Name	法学 Jurisprudence				ナンバリング No.	A1-015	
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	上岡 敦						
連絡方法	C-Learning で対応、教室、非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1,DP2,DP4						
授業の概要と到達目標	<p>【授業の概要】 本科目は法とは何かをはじめ、法律学を学ぶ際の基礎、前提となる様々な「法の一般理論」について講義を行う。</p> <p>【到達目標】 1. 社会生活を送る上で身につけておくべき法の基礎知識を習得し、自らの言葉で説明できる。 2. 現代社会で発生する様々な法的現象にアプローチするための法の基礎的理論を修得するとともに、さまざまな具体例を通して応用的能力を身につける。</p>						
授業の方法	講義形式で行うが、適宜パワーポイントやレジュメなどの補助資料を使用する予定である。毎回リアクションペーパーを配布するので、質問や要望などがあれば提出をすること。						
学習成果	L01						
	L02	学生は法的思考を理解し、法律学習を行うための素養を修得することができるようになる。					
	L03	学生は社会現象を論理的に考え、自らの言葉で説明できるようになる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	講義のなかで対応する。						
教科書/参考図書	<p>【教科書】 高橋雅夫 編『法学〈第3版〉Next 教科書シリーズ』(弘文堂、2020年) ISBN:978-4-335-00243-4 その他参考文献については授業時に随時提示する。</p>						
履修上の留意点やルール等	<p>授業は、法をめぐる実際の問題や、法に対する問題意識を深めるといった点を重視して行う。したがって、教科書全ての章や内容をまんべんなく取り上げる事は避け、重点をおいた項目、補足しておくべき項目について取り扱いたい。受講者は、講義と教科書の双方を活用して、法に対する理解を深めてほしい。毎回の講義に際しては、十分な自己学習と真剣に取り組むこと姿勢が強く求められる。授業で取り上げるテーマ、事例は受講者の関心や社会情勢等に合わせて柔軟に対応する予定であるため、授業計画を変更する場合がある。原則として期末試験によって成績評価を行うが、履修者数によってはレポート試験とする場合もある。なお、成績評価の対象となるためには3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>各回の事前・事後学習の目安:各2時間</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	提出物の内容や提出状況から判断する。		5	5	
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	授業内容が踏まえられているか、自分なりの学習成果が見られるかどうか等で評価を行う。		45	45	
その他					
合計			50	50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、法の学び方
	事前・事後学習	法に関して、自身が関心を持っている問題や分野について考えてみる。
2	授業内容	法に関する情報の探し方
	事前・事後学習	実際にインターネットや図書館等で、法の情報源を調べてみる。
3	授業内容	社会秩序と法
	事前・事後学習	なぜ社会には方が必要なのかを考え、法の存在理由について説明できるようにする。
4	授業内容	法の存在形式
	事前・事後学習	日常生活を送る上で、どのような法が存在しているのかを確認してみる。
5	授業内容	法の分類
	事前・事後学習	第4回で扱った法はどのように分類できるのかを考え、自分なりに図式化してみる。
6	授業内容	法と道徳
	事前・事後学習	法と道徳の関係性について図表などを用いながら整理してみる。
7	授業内容	法と正義
	事前・事後学習	正義とは何か、自分なりに考えてみる。
8	授業内容	条文の読み方
	事前・事後学習	法令用語にはどのようなものがあるか確認し、使い方について整理してみる。
9	授業内容	裁判と法
	事前・事後学習	法曹三者の職務や裁判所の種類、構成について整理してみる。
10	授業内容	判例の読み方
	事前・事後学習	判例と裁判例の違いについて調べてみる。
11	授業内容	法の解釈と適用
	事前・事後学習	それぞれの解釈について、自ら具体例を考え説明できるようにする。
12	授業内容	日本国憲法と人権
	事前・事後学習	日本国憲法にはどのような人権規定があるのか調べてみる。
13	授業内容	日本国憲法における統治の仕組み
	事前・事後学習	内閣にはどのような行政機関があるのか調べてみる。
14	授業内容	情報と法、行政法
	事前・事後学習	法律による行政の原理について、3つの原則を確認しながら整理してみる。
15	授業内容	総括と補足
	事前・事後学習	これまでの講義内容をまとめ、理解が不足している点を整理する。